

# 東海旅客鉄道(株)殿にコンパクト形補償リアクトル装置を納入

抵抗接地方式を採用する電力系統において、ケーブルの対地充電電流が抵抗器電流よりも大きくなると、異常電圧の発生及び地絡保護継電器の誤動作などのおそれがあるので、リアクトルにより対地充電電流を補償しなければならない。

その場合、変圧器の中性点に接続する場合と、系統の切換の自由度を考慮する必要などから線路に直結する場合があります。線路直結形の場合は「接地変圧器+中性点リアクトル+直列抵抗器」を設置する必要があり、従来は各機器を独立して設置していたため広い敷地を必要としていた。

これを解決するため、接地変圧器、中性点リアクトルは同一ケース内に入れ、リアクトル電流に含有される直流分の減衰を早くするための直列抵抗器を接地側ダクト内に収納し、これを一体化し据付面積の縮小化を図ることを目的として中部電力(株)殿と共同で開発を進めた結果、「コンパクト形補償リアクトル装置」を完成させ、昭和63年以降中部電力(株)殿に納入してきた。

このたび、初めて東海旅客鉄道(株)殿にコンパクト形補償リアクトル装置を納入することができた。

(1800kVA 2台及び1000kVA 2台)

今後の一層の拡販が期待される。

## ■納入したリアクトル装置の主な仕様

定格の種類	連続励磁短時間定格	
時間定格	30 s	
定格周波数	60Hz	
接地変圧器	相数	3
	定格電圧	77000 V
	定格容量(零相容量)	1800 kVA, 1000 kVA
結線	星形(埋込み三角巻線付)	
中性点リアクトル	相数	1
	定格電圧	$77000/\sqrt{3}$ V
油中断路器	定格電圧	$77000/\sqrt{3}$ V
	定格電流	400 A
	操作方法	手動
直列抵抗器	定格電圧	$7700/\sqrt{3}$ V
	抵抗値	110Ω (1800kVA), 198Ω (1000kVA)
騒音レベル	50dB以下	
寸法・質量	4000(W)×3460(B)×3300(H)mm	
	油入総質量: 17200 kg (1000 kVA)	
	17400 kg (1800 kVA)	

## ■機器間結線

### ■機器間結線

